

令和6年度 八戸圏域水道企業団 業務指標(PI)算出結果総括表

2016
ガイドライン

【記号の凡例】 「↑」：3年続けて増加傾向にある指標、「↓」：3年続けて減少傾向にある指標、「⇒」：3年続けて同値である指標
「↑」：単年度比で前年度より増加した指標、「↓」：単年度比で前年度より減少した指標

1. 主要背景情報 (CI: Context Information)

水道事業体のプロフィール	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比(差)	過去3年間の傾向※
給水人口規模	人	整数	297,228	292,953	289,008	-3,945	↓
全職員数	人	整数	163	161	163	2	↑
システムのプロフィール	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比(差)	過去3年間の傾向※
水源種別	—	—	表流水×2 湧水×1 地下水×1	表流水×2 湧水×1 地下水×1	表流水×2 湧水×1 地下水×1	—	—
浄水受水率 浄水受水量/年間取水量	%	小数点第1位	0.4	0.5	0.4	-0.1	↓
給水人口1万人当たりの浄水場数 浄水場数/(現在給水人口/10,000人)	箇所/10,000人	小数点第1位	0.1	0.1	0.1	0.0	⇒
給水人口1万人当たりの施設数 (浄水場数+送・配水施設)/(現在給水人口/10,000人)	箇所/10,000人	小数点第1位	1.7	1.7	1.7	0.0	⇒
地域条件のプロフィール	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比(差)	過去3年間の傾向※
有収水量密度 有収水量/計画給水区域面積	1,000m ³ /ha	小数点第1位	0.6	0.6	0.6	0.0	⇒
水道メーター密度 水道メーター数/配水管延長	個/km	小数点第1位	90.7	90.8	90.9	0.1	↑
単位管延長 導送配水管延長/現在給水人口	m/人	小数点第1位	7.0	7.2	7.3	0.1	↑

2. 業務指標 (PI: Performance Indicator)

A) 安全で良質な水

1) 水質管理(運営管理)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比(差)	過去3年間の傾向※
A101 (1106)	平均残留塩素濃度 残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数	mg/L	小数点第2位	0.42	0.42	0.41	-0.01	↓
A102 (1105)	最大カビ臭物質濃度水質基準比率 (最大カビ臭物質濃度/水質基準値) × 100	%	小数点第1位	0.0	10.0	30.0	20.0	↑
A103 (1107)	総トリハロメタン濃度水質基準比率 max(Xi) = (Σ給水栓の総トリハロメタン濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100 Xi: 定期検査時の総トリハロメタン濃度水質基準比率 i: 定期検査の実施回	%	小数点第1位	13.4	10.8	18.7	7.9	↑
A104 (1108)	有機物(TOC)濃度水質基準比率 max(Xi) = (Σ給水栓の有機物(TOC)濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100 Xi: 定期検査時の有機物(TOC)濃度水質基準比率 i: 定期検査の実施回	%	小数点第1位	23.3	20.0	26.7	6.7	↑
A105 (1110)	重金属濃度水質基準比率 max(Xhi) = (Σ給水栓の当該重金属濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100 Xhi: 定期検査時の当該重金属水質基準比率 h: 重金属の種類 i: 定期検査の実施回	%	小数点第1位	0.0	0.0	0.0	0.0	⇒
A106 (1111)	無機物質濃度水質基準比率 max(Xhi) = (Σ給水栓の当該無機物質濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100 Xhi: 定期検査時の当該無機物質水質基準比率 h: 無機物質の種類 i: 定期検査の実施回	%	小数点第1位	31.3 (硬度)	30.6 (硬度)	31.2 (硬度)	0.6	↑
A107 (1113)	有機化学物質濃度水質基準比率 max(Xhi) = (Σ給水栓の当該有機化学物質濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100 Xhi: 定期検査時の当該有機化学物質水質基準比率 h: 有機化学物質の種類 i: 定期検査の実施回	%	小数点第1位	0.0	0.0	0.0	0.0	⇒
A108 (1114)	消毒副生成物濃度水質基準比率 max(Xhi) = (Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度/給水栓数) / 水質基準値 × 100 Xhi: 定期検査時の当該消毒副生成物水質基準比率 h: 消毒副生成物の種類 i: 定期検査の実施回	%	小数点第1位	16.7 (トリハロ酢酸)	16.7 (トリハロ酢酸)	16.7 (トリハロ酢酸)	0.0	⇒
A109 (1109)	農薬濃度水質管理目標比 max(Σ(Xij/GVj)) Xi: 各定期検査時の各農薬濃度 GVj: 各農薬の目標値 i: 定期検査実施回 j: 農薬の種類	—	小数点第3位	0.004	0.004	0.003	-0.001	↓

2) 施設管理(運営管理)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
A 201 (1101)	原水水質監視度 原水水質監視項目数	項目	整数	74	74	76	2	↑
A 202 (1102)	給水栓水質検査(毎日)箇所密度 給水栓水質検査(毎日)採水箇所数/(現在給水面積/100)	箇所/100km ²	小数点第1位	6.5	4.2	4.2	0.0	—
A 203 (5002)	配水池清掃実施率 (5年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量)×100	%	小数点第1位	59.5	63.6	82.7	19.1	↑↑
A 204 (1115)	直結給水率 (直結給水件数/給水件数)×100	%	小数点第1位	99.5	99.5	99.5	0.0	⇒
A 205 (5115)	貯水槽水道指導率 (貯水槽水道指導件数/貯水槽水道数)×100	%	小数点第1位	51.6	52.9	52.6	-0.3	↓

3) 事故災害対策(運営管理)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
A 301 (2201)	水源の水質事故件数 年間水源水質事故件数	件	整数	1	3	1	-2	↓
A 302 (1116)	粉末活性炭処理比率 (粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量)×100	%	小数点第1位	100.6	100.3	96.4	-3.9	↓↓

4) 施設更新(施設整備)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
A 401 (1117)	鉛製給水管率 (鉛製給水管使用件数/給水件数)×100	%	小数点第1位	*0.7	*0.7	*0.7	0.0	⇒

B) 安定した水の供給

1) 施設管理(運営管理)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
B 101 (1004)	自己保有水源率 (自己保有水源水量/全水源水量)×100	%	小数点第1位	15.3	15.3	15.3	0.0	⇒
B 102 (1005)	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額 水源保全に投資した費用/年間取水量	円/m ³	有効数字2桁	0.099	0.064	0.081	0.017	↑
B 103 (4101)	地下水率 (地下水揚水量/年間取水量)×100	%	小数点第1位	17.5	19.0	19.3	0.3	↑↑
B 104 (3019)	施設利用率 (一日平均配水量/施設能力)×100	%	小数点第1位	56.0	56.0	56.4	0.4	↑
B 105 (3020)	最大稼働率 (一日最大配水量/施設能力)×100	%	小数点第1位	60.8	62.4	61.2	-1.2	↓
B 106 (3021)	負荷率 (一日平均配水量/一日最大配水量)×100	%	小数点第1位	92.2	89.7	92.2	2.5	↑
B 107 (2007)	配水管延長密度 配水管延長/現在給水面積	km/km ²	小数点第1位	4.0	4.1	4.1	0.0	—
B 108 (5111)	管路点検率 (点検した管路延長/管路延長)×100	%	小数点第1位	6.9	2.5	5.9	3.4	↑
B 109 (新規)	バルブ点検率 (点検したバルブ数/バルブ設置数)×100	%	小数点第1位	10.1	0.1	0.6	0.5	↑
B 110 (5107)	漏水率 (年間漏水量/年間配水量)×100	%	小数点第1位	6.9	7.4	8.1	0.7	↑↑
B 111 (新規)	有効率 (年間有効水量/年間配水量)×100	%	小数点第1位	92.9	92.4	91.8	-0.6	↓
B 112 (3018)	有収率 (年間有収水量/年間配水量)×100	%	小数点第1位	90.6	90.1	89.5	-0.6	↓
B 113 (2004)	配水池貯留能力 (配水池有効容量/一日平均配水量)	日	小数点第2位	1.53	1.53	1.52	-0.01	↓
B 114 (2002)	給水人口一人当たり配水量 (一日平均配水量×1,000)/現在給水人口	L/日・人	整数 →小数点第1位	271.9	275.6	281.5	5.9	↑↑
B 115 (2005)	給水制限日数 年間給水制限日数	日	整数	0	0	0	0	⇒
B 116 (2006)	給水普及率 (現在給水人口/給水区域内人口)×100	%	小数点第1位 →2位	97.06	97.04	97.03	-0.01	↓
B 117 (5110)	設備点検実施率 (点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数)×100	%	小数点第1位	81.5	76.8	73.9	-2.9	↓↓

2) 事故災害対策(運営管理)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
B 201 (5101)	浄水場事故割合 10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数	件/10年・箇所	小数点第2位 →1位	0.3	0.3	0.0	-0.3	↓
B 202 (2204)	事故時断水人口率 (事故時断水人口/現在給水人口) ×100	%	小数点第1位	25.6	24.2	24.3	0.1	↑
B 203 (2001)	給水人口一人当たり貯留飲料水量 (配水池有効容量×1/2)+緊急貯水槽容量) ×1,000/現在給水人口	L/人	整数 →小数点第1位	208.1	211.2	214.1	2.9	↑
B 204 (5103)	管路の事故割合 管路の事故件数/ (管路延長/100)	件/100km	小数点第1位	1.2	0.4	0.8	0.4	↑
B 205 (2202)	基幹管路の事故割合 基幹管路の事故件数/ (基幹管路延長/100)	件/100km	小数点第1位	0.4	0.0	0.7	0.7	↑
B 206 (5104)	鉄製管路の事故割合 鉄製管路の事故件数/ (鉄製管路延長/100)	件/100km	小数点第1位	0.7	0.2	0.6	0.4	↑
B 207 (5105)	非鉄製管路の事故割合 非鉄製管路の事故件数/ (非鉄製管路延長/100)	件/100km	小数点第1位	10.6	6.0	4.1	-1.9	↓
B 208 (5106)	給水管の事故割合 給水管の事故件数/ (給水管数/1,000)	件/1,000件	小数点第1位	1.8	1.3	1.4	0.1	↑
B 209 (5109)	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間 Σ(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)/現在給水人口	時間	小数点第2位	0.02	0.00	0.01	0.01	↑
B 210 (新規)	災害対策訓練実施回数 年間の災害対策訓練実施回数	回/年	整数	15	13	17	4	↑
B 211 (5114)	消火栓設置密度 消火栓数/配水管延長	基/km	小数点第1位	2.6	2.6	2.6	0.0	⇒

3) 環境対策(運営管理)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
B 301 (4001)	配水量1㎥当たり電力消費量 電力使用量の合計/年間配水量	kWh/㎥	有効数字2桁	0.59	0.58	0.58	0.00	—
B 302 (4002)	配水量1㎥当たり消費エネルギー エネルギー消費量/年間配水量	MJ/㎥	小数点第2位	5.83	5.18	5.16	-0.02	↓
B 303 (4006)	配水量1㎥当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量 (二酸化炭素(CO ₂)排出量/年間配水量) ×10 ⁶	g・CO ₂ /㎥	整数	293	287	285	-2	↓
B 304 (4003)	再生可能エネルギー利用率 (再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量) ×100	%	有効数字2桁	0.085	0.084	0.078	-0.006	↓
B 305 (4004)	浄水発生土の有効利用率 (有効利用土量/浄水発生土量) ×100	%	小数点第1位	100.0	100.0	100.0	0.0	⇒
B 306 (4005)	建設副産物のリサイクル率 (リサイクルされた建設副産物量/建設副産物発生量) ×100	%	小数点第1位	51.1	66.4	36.6	-29.8	↓

4) 施設管理(施設整備)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
B 401 (5102)	ダクトイール鉄管・鋼管率 (ダクトイール鉄管延長+鋼管延長)/(管路延長) ×100	%	小数点第1位	94.8	95.0	95.1	0.1	↑
B 402 (2107)	管路の新設率 (新設管路延長/管路延長) ×100	%	小数点第2位	0.17	0.22	0.20	-0.02	↓

5) 施設更新(施設整備)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
B 501 (2101)	法定耐用年数超過浄水施設率 (法定耐用年数を超えている浄水施設能力/全浄水施設能力) ×100	%	小数点第1位	0.0	6.9	6.9	0.0	—
B 502 (2102)	法定耐用年数超過設備率 (法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数/機械・電気・計装設備などの合計数) ×100	%	小数点第1位	17.3	20.6	20.0	-0.6	↓
B 503 (2103)	法定耐用年数超過管路率 (法定耐用年数を超えている管路延長/管路延長) ×100	%	小数点第1位	24.0	25.8	28.1	2.3	↑
B 504 (2104)	管路の更新率 (更新された管路延長/管路延長) ×100	%	小数点第2位	0.43	0.54	0.27	-0.27	↓
B 505 (2105)	管路の更生率 (更生された管路延長/管路延長) ×100	%	小数点第3位	0.000	0.000	0.047	0.047	↑

6) 事故災害対策(施設整備)

番 号 (旧番号)	指標名(算出式)	単 位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
B 601 (2206)	系統間の原水融通率 (原水融通能力/全浄水施設能力) × 100	%	小数点第1位	43.3	43.3	43.3	0.0	⇒
B 602 (2207)	浄水施設の耐震化率 (耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力) × 100	%	小数点第1位	42.1	42.1	42.1	0.0	⇒
B 602-2 (新規)	浄水施設の主要構造物耐震化率 (沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力) / 全浄水施設能力) × 100	%	小数点第1位	38.3	38.3	38.3	0.0	⇒
B 603 (2208)	ポンプ所の耐震化率 (耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力) × 100	%	小数点第1位	94.2	94.3	94.2	-0.1	↓
B 604 (2209)	配水池の耐震化率 (耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量) × 100	%	小数点第1位	49.5	49.9	49.9	0.0	—
B 605 (2210)	管路の耐震管率 (耐震管延長/管路延長) × 100	%	小数点第1位	45.3	45.7	46.1	0.4	↑
B 606 (新規)	基幹管路の耐震管率 (基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長) × 100	%	小数点第1位	72.2	73.0	73.5	0.5	↑
B 606-2 (新規)	基幹管路の耐震適合率 (基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長) × 100	%	小数点第1位	72.2	73.0	73.5	0.5	↑
B 607 (新規)	重要給水施設配水管路の耐震管率 (重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長) × 100	%	小数点第1位	*55.6	*55.6	*57.7	2.1	↑
B 607-2 (新規)	重要給水施設配水管路の耐震適合率 (重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長) × 100	%	小数点第1位	*55.6	*55.6	*57.7	2.1	↑
B 608 (2216)	停電時配水量確保率 (全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量) × 100	%	小数点第1位	147.6	147.7	146.6	-1.1	↓
B 609 (2211)	薬品備蓄日数 (平均凝集剤貯蔵量/凝集剤一日平均使用量) 又は (平均塩素剤貯蔵量/塩素剤一日平均使用量) ※凝集剤又は塩素剤のうち小さい方の値を採用	日	小数点第1位	*32.7	*27.0	*26.5	-0.5	↓
B 610 (2212)	燃料備蓄日数 平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量	日	小数点第1位	*2.4	*2.4	*2.4	0.0	⇒
B 611 (2205)	応急給水施設密度 応急給水施設数/(現在給水面積/100)	箇所/100km ²	小数点第1位	13.9	13.9	13.9	0.0	⇒
B 612 (2213)	給水車保有度 給水車数/(現在給水人口/1,000)	台/1,000人	有効数字2桁	0.013	0.014	0.014	0.0	—
B 613 (2215)	車載用の給水タンク保有度 車載用給水タンクの容量/(現在給水人口/1,000)	m ³ /1,000人	有効数字2桁	0.17	0.17	0.17	0.0	⇒

C) 健全な事業経営

1) 健全経営(財務)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
C 101 (3001)	営業収支比率 (営業収益-受託工事収益) / (営業費用-受託工事費) ×100	%	小数点第1位 →2位	95.04	100.08	96.39	-3.69	↓
C 102 (3002)	経常収支比率 (営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用) ×100	%	小数点第1位 →2位	106.44	112.35	109.23	-3.12	↓
C 103 (3003)	総収支比率 (総収益/総費用) ×100	%	小数点第1位 →2位	106.44	112.35	109.22	-3.13	↓
C 104 (3004)	累積欠損金比率 (累積欠損金 / (営業収益-受託工事収益)) ×100	%	小数点第1位 →2位	0.00	0.00	0.00	0.00	⇒
C 105 (3005)	繰入金比率(収益的収入分) (損益勘定繰入金/収益的収入) ×100	%	小数点第1位	0.4	0.5	0.5	0.0	—
C 106 (3006)	繰入金比率(資本的収入分) (資本勘定繰入金/資本的収入計) ×100	%	小数点第1位	1.6	1.6	3.2	1.6	↑
C 107 (3007)	職員一人当たり給水収益 給水収益/損益勘定所属職員数	千円/人	整数	48,271	48,374	48,455	81	↑↑
C 108 (3008)	給水収益に対する職員給与費の割合 (職員給与費/給水収益) ×100	%	小数点第1位	15.5	15.8	16.8	1.0	↑↑
C 109 (3009)	給水収益に対する企業債利息の割合 (企業債利息/給水収益) ×100	%	小数点第1位	2.2	2.0	1.9	-0.1	↓
C 110 (3010)	給水収益に対する減価償却費の割合 (減価償却費/給水収益) ×100	%	小数点第1位	48.2	48.3	48.8	0.5	↑↑
C 111 (3011)	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合 (建設改良のための企業債償還元金/給水収益) ×100	%	小数点第1位	13.8	13.4	12.5	-0.9	↓
C 112 (3012)	給水収益に対する企業債残高の割合 (企業債残高/給水収益) ×100	%	小数点第1位	151.3	150.7	143.7	-7.0	↓
C 113 (3013)	料金回収率 (供給単価/給水原価) ×100	%	小数点第1位 →2位	100.82	109.26	104.88	-4.38	↓
C 114 (3014)	供給単価 給水収益/年間総有収水量	円/m ³	小数点第1位 →2位	263.61	263.45	264.24	0.79	↑
C 115 (3015)	給水原価 (経常費用- (受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費+長期前受金戻入)) / 年間有収水量	円/m ³	小数点第1位 →2位	261.46	241.12	251.94	10.82	↑
C 116 (3016)	1か月10m³当たり家庭用料金 1か月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10m ³ 使用時の従量料金(税込)	円	整数	2,090	2,090	2,090	0	⇒
C 117 (3017)	1か月20m³当たり家庭用料金 1か月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20m ³ 使用時の従量料金(税込)	円	整数	4,961	4,961	4,961	0	⇒
C 118 (3022)	流動比率 (流動資産/流動負債) ×100	%	小数点第1位	348.3	343.3	388.3	45.0	↑
C 119 (3023)	自己資本構成比率 ((資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益) / 負債・資本合計) ×100	%	小数点第1位	85.0	84.8	85.7	0.9	↑
C 120 (3024)	固定比率 (固定資産 / (資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)) ×100	%	小数点第1位	108.4	107.4	107.2	-0.2	↓
C 121 (3025)	企業債償還元金対減価償却費比率 (建設改良のための企業債償還元金 / 当年度減価償却費) ×100	%	小数点第1位 →2位	28.55	27.65	25.61	-2.04	↓
C 122 (3026)	固定資産回転率 (営業収益-受託工事収益) / ((期首固定資産+期末固定資産) / 2)	回	小数点第2位	0.09	0.08	0.09	0.01	↑
C 123 (3027)	固定資産使用効率 年間配水量/有形固定資産	m ³ /万円	小数点第1位	4.0	4.0	4.0	0.0	⇒
C 124 (3109)	職員一人当たり有収水量 年間総有収水量/損益勘定所属職員数	m ³ /人	百位を四捨五入 →整数	183,113	183,614	183,370	-244	↓
C 125 (5005)	料金請求誤り割合 誤料金請求件数 / (料金請求件数 / 1,000)	件/1,000件	小数点第2位	0.01	0.02	0.01	-0.01	↓
C 126 (5006)	料金収納率 (料金納入額/調定額) ×100	%	小数点第1位	99.1	98.9	98.9	0.0	—
C 127 (5007)	給水停止割合 給水停止件数 / (給水件数 / 1,000)	件/1,000件	小数点第1位	4.0	9.2	9.1	-0.1	↓

2)人材育成(組織・人材)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
C 201 (3101)	水道技術に関する資格取得度 職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数	件/人	小数点第2位	2.05	2.11	2.13	0.02	↑
C 202 (3103)	外部研修時間 (職員が外部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	時間/人	小数点第1位	7.8	5.5	8.1	2.6	↑
C 203 (3104)	内部研修時間 (職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数	時間/人	小数点第1位	6.1	5.0	6.2	1.2	↑
C 204 (3105)	技術職員率 (技術職員数/全職員数) × 100	%	小数点第1位	*57.7	*57.1	*54.6	-2.5	↓
C 205 (3106)	水道業務平均経験年数 職員の水道業務経験年数/全職員数	年/人	小数点第1位	17.3	18.1	17.4	-0.7	↓
C 206 (6001)	国際協力派遣者数 Σ(国際協力派遣者数×滞在日数)	人・日	整数	0	0	0	0	⇒
C 207 (6101)	国際協力受入者数 Σ(国際協力受入者数×滞在日数)	人・日	整数	0	0	0	0	⇒

3)業務委託(組織・人材)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
C 301 (5008)	検針委託率 (委託した水道メーター数/水道メーター設置数) × 100	%	小数点第1位	100.0	100.0	100.0	0.0	⇒
C 302 (5009)	浄水場第三者委託率 (第三者委託した浄水場の浄水施設能力/全浄水施設能力) × 100	%	小数点第1位	0.0	0.0	0.0	0.0	⇒

4)情報提供(お客さまとのコミュニケーション)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
C 401 (3201)	広報誌による情報の提供度 広報誌などの配布部数/給水件数	部/件	小数点第1位	3.8	3.8	3.8	0.0	⇒
C 402 (新規)	インターネットによる情報の提供度 ウェブページへの掲載回数	回	整数	215	242	225	-17	↓
C 403 (3204)	水道施設見学者割合 見学者数/(現在給水人口/1,000)	人/1,000人	有効数字2桁 →小数点第1位	0.0	8.3	8.8	0.5	↑

5)意見収集(お客さまとのコミュニケーション)

番号 (旧番号)	指標名(算出式)	単位	推奨単位	R4年度	R5年度	R6年度	前年比 (差)	過去3年間の 傾向
C 501 (3202)	モニタ割合 モニタ人数/(現在給水人口/1,000)	人/1,000人	有効数字2桁	0.16	0.16	0.17	0.01	↑
C 502 (3203)	アンケート情報収集割合 アンケート回答人数/(現在給水人口/1,000)	人/1,000人	小数点第2位	0.16	0.16	0.16	0.00	⇒
C 503 (3112)	直接飲用率 (直接飲用回答数/アンケート回答数) × 100	%	小数点第1位	データなし	データなし	データなし	—	—
C 504 (3205)	水道サービスに対する苦情対応割合 水道サービス苦情対応件数/(給水件数/1,000)	件/1,000件	小数点第2位	0.86	0.84	0.91	0.07	↑
C 505 (3206)	水質に対する苦情対応割合 水質苦情対応件数/(給水件数/1,000)	件/1,000件	小数点第2位	0.48	0.54	0.57	0.03	↑
C 506 (3207)	水道料金に対する苦情対応割合 水道料金苦情対応件数/(給水件数/1,000)	件/1,000件	小数点第2位 →小数点第3位	0.000	0.000	0.007	0.007	↑

- ・番号下段の()内番号は、2005年度版ガイドラインのPIと関連性のある番号(指標)を記載しています。
- ・数字の前に「*」が付してある数値は、数値が不明確であるため参考値として記載しています。
- ・推奨単位より下位は四捨五入としています。
- ・経営指標と異なる算出方法のものが一部あります。